

特定非営利活動法人

日本小児循環器学会 理事会 (2019.8-2021.7)

2019 年度第 3 回理事会 議事次第

日時：2020 年 3 月 20 日 (祝) 13:00~15:00 (15:38 分終了)

場所：zoom による web 会議



【理事会構成員】理事総数：20 名、出席予定理事：20 名

理事長：坂本喜三郎

副理事長：山岸敬幸

理事：鮎沢衛、赤木禎治、岩本眞理、賀藤均、城戸佐知子、白石公、鈴木孝明、  
須田憲治、住友直方、土井庄三郎、豊野学朋、中野俊秀、檜垣高史、三浦大、  
三谷義英、安河内聰、山岸正明、芳村直樹

監事：市田路子、富田英

幹事：増谷聡、水野芳子、宮崎文

事務局：伏見はるか

#### 1. 開会 13:00

坂本理事長より参加者の確認、開会の挨拶があった。

#### 2. 議事録署名人選出

土井、鈴木理事

理事会：異論なし。

#### 3. 理事長挨拶

・『理事会および委員会運営に関する理事長の基本方針』

1. 今後は、学会の委員会 WG などの会議は Web 会議での開催を基本とする。Face-to-face meeting は学術集会の時にできるだけまとめて開催する。各委員会・WG は、審議決定したことを議事録としてまとめ理事会報告としていただきたい。

2. 委員会活動に必要な予算申請は、今後は各委員長個々で提出せず、担当理事からまとめて予算申請することを基本とする。

3. 学会の予備費に関して

現在の学会本体の予備費は 2500 万円程度。本来は学術集会 1 回開催分を予備費とする方針でこれまで貯蓄してきた。予備費増額については、過去 3 回の学術集会からの寄付が大きい、学術集会以外の部分では厳しい予算運用を余儀なくされている。今の学術集会開催費用は 6,000~7,000 万円かかっているため学術集会が開催に問題があった場合、完全な補填が不可能。学術集会開催の財政的な支援については、学会本体活動に支障を来さない範囲で行う。

理事会：承認

#### 4. 学術集会会長より準備状況報告 ..... 資料 1p.1

山岸正明第 56 回学術集会会長：資料 1-6：

山岸理事より 2020 年学術集会の準備状況について説明があった。

COVID-19 が現状と同程度であれば、開催の方針とした。開催方法については、状況により色々の方式を検討する予定。

- ※ 理事会としては、予定通り開催することで承認
- ※ もし、開催中止となった場合の損失補填については、学会通常活動費を担保した上で支援することで承認

赤木理事より次回 JCK3 カ国をどうするかについて質問があり、今年開催中止になった JCK Heart Forum については坂本理事長から 3 カ国の代表と今後の開催について協議することになった。

## 5. 審議事項：

第 1 号議案：研究課題について（学術（研究）：先崎）（担当：土井）……………資料 2 p.15  
新規研究課題について（課題 A・2 件、課題 B・3 件）

→ 厚労科研がある申請課題 A-1 は非承認。申請課題 A-2（廣野先生）は 80 万円で承認  
課題 B-1, B-2, B-3 の 3 件は承認

→ 課題 B の年複数回の受付については、学術委員会/研究委員会で検討して再度理事会に報告することになった。

第 2 号議案：COVID-19 の影響に伴う海外演者の縮小（学術（ジョイント）：土井）……………資料 2 p.7  
海外招請講演について演者数を縮小することについて

→ 今年の学術集会への海外招請追加はしない（AHA, AEPC それぞれから 2 名で、追加 1 名はしない。TSPC からは招請しない）ことで承認

第 3 号議案：海外臨床研修の制度化(次世代：芳村)……………資料 3 p.78  
外科系会員に対する海外臨床研修支援の制度化について

→ ベトナムのハノイ、ホーチミンの病院での海外心臓血管外科研修制度を学会主導で、年 2 名、期間は 3 ヶ月から 1 年程度で始めることで承認

→ 補助費 20 万円、宿泊施設や渡航費は含まず。宿泊に関しては現地医療機関と交渉予定

→ 海外医療保険など医療上のトラブルに対する対応をきちんとすること

第 4 号議案：女性評議員人数の拡大について（働き方：岩本）……………資料 3 p.82  
学会として女性評議員の人数を拡大するための方策について

→ 会員数の比率に合わせて女評議員を増やすことで承認

→ 女性評議員の積極的な推薦を促すが、評議員申請資格は同一とする

→ 同一施設からの評議員数に関しては懸案とする

第 5 号議案：多領域専門職会員の評議員選出について（多領域：仁尾）（担当：山岸敬）……………資料 3 p.84  
申請条件・方法について【～13:30 まで】

→ 日本循環器学会または日本心臓病学会会員という条件以外、申請資格は同等とする  
（目安は多領域職種専門職域会員の 10% で、初年度は 5-6 名が推薦される見込み）

第 6 号議案：新規専門医修練施設申請について（専門医：鮎沢）……………資料 4 p.89  
専門医修練施設の新規申請審査結果について

→ 今回の更新施設群は 5 施設議 m(東京医科歯科大学（防衛医大追加）、千葉こども（海浜追加）、あいち小児（名古屋大が抜け、藤田が加わる）、JCHO 中京（名古屋大が追加）。熊本市民・熊本大については書類の再提出後に承認予定

→ 残りの 2 施設は 3 月 27 日まで申請督促中(申請後持ち回り審議とする)

→ 専門医試験日程は、毎年 11 月第一日曜日と決定した。

第 7 号議案：新しいカテーテル治療のあり方ワーキンググループ設置について(医材：杉山)（担当：

- 三浦) ..... 資料 5 p.112  
ワーキンググループ設置について  
→ 新しいカテーテル治療のあり方 WG を設置 (承認)  
→ 心室中隔欠損のカテーテル閉鎖の医師主導治験について PMDA と検討中
- 第 8 号議案：患者向けガイドラインのチェック機構について (移行：城戸) ..... 資料 6 p.114  
公開する際の内容確認をどのように実施するかについて  
→ ガイドラインではなく「ガイド」として発行する  
→ ガイドの文言・内容のチェックは理事に依頼する
- 第 9 号議案：学会主催事業と各分科会との日程調整案について (総務：豊野) ..... 資料 8 p.131  
分科会と本学会アドバンスコース・専門医試験の日程調整について  
→ 総務から提案された日程調整の骨子案について承認  
→ 日程は 2 年後まで公式行事一分科会開催の優先順位で調整。先に分科会の日程が決定している場合は後から決定されたものが日程調整を紳士的に行う。  
→ 懸案事項：分科会の共同・統合開催について学会主導で進めるといった意見が出されたが、今後の検討課題とし、理事長預かりとした。
- 第 10 号議案：学会への各種公募の取り扱い案について (総務：豊野) ..... 資料 8 p.134  
受付方法と決定方法について  
→ 総務から提案された公募の HP 掲載案について承認  
→ 掲載依頼の申請者は学会会員とし、所定の申請書式により総務に申請し、理事長の承認を得るものとする(詳細は総務案を参照)
- 第 11 号議案：学会 HP の改訂について (総務：豊野) ..... 資料 8 p.136  
一般向けページの改訂案について  
→ 総務から①イラスト中心、②関係コンテンツのリンク紹介、③現在の HP のマイナーチェンジの 3 つの方向性について提案され、①および②の方針で進めることになった。  
→ コンテンツの整備については、総務、学術ばかりでなく理事評議員に依頼する方向性で検討することになった。
- 第 12 号議案：学会 HP の英語ページの改訂法の決定 (総務：豊野)  
英語ページの改定 (コンテンツの補充) について  
→ コンテンツの整備については、総務を中心に理事、評議員に依頼して整備していくことで承認
- 第 13 号議案：功労賞について (顕彰：平松) (担当：豊野) ..... 資料 8 p.145  
内科系：丹羽公一郎先生、外科系：角秀秋先生に授与することについて  
→ 内科系功労賞：丹羽公一郎先生、外科系功労賞：角秀秋先生に決定 (承認)
- 第 14 号議案：功労賞の選出方法について (理事長：坂本)  
内科系/外科系の選出人数について  
→ 毎年の功労賞を現在の内科系 (1) 及び外科系 (1) とするか理事長中心に今後検討することになった。
6. 報告事項 (委員会報告)：
- 1) 学術エリア (担当：土井理事、三谷理事、山岸理事)
- 1-1 学術委員会報告 (土井理事)..... 資料 2 p.7  
関連国際学会および関連国内学会ジョイントや海外招請は渉外委員会と連携して実施。  
COVID-19 で国内外学会が延期となっている

- 1-2 教育委員会報告（稲井委員長 代：土井理事 外科系：中野理事）…………… 資料 2 p.9
- 1-3 ガイドライン委員会報告（豊野理事）…………… 資料 2 p.11
- ・ ガイドラインの外部評価委員は、従来のガイドライン委員会委員に限らず、本学会評議員で学識の高い人を外部委員とする。途中で班員追加ができるよう変更した。(学術委で承認)。
  - ・ 整備すべきガイドラインについて、日本循環器学会等との調整を進める
  - ・ 小児科特有のコンテンツについて整備を進める
  - ・ 作成したガイドラインの雑誌掲載について英訳も含め進める
- 雑誌掲載については関連学会（日本循環器学会）などの著作権との調整を諮る
- 1-4 研究委員会報告（先崎委員長 代：土井理事）…………… 資料 2 p.15
- ・ 報告書参照
- 1-5 学術集会企画委員会報告（笠原委員長 代：土井理事）…………… 資料 2 p.18
- ・ 次回持ち越し（山岸正理事・第 56 回学術集会会長）
- 1-6 疫学遺伝子形態データベース委員会報告（犬塚委員長 代：土井理事）…………… 資料 2 p.19
- 報告書参照
- 1-7 関連学会ジョイント講演選定委員会報告（土井理事）…………… 資料 2 p.7
- 報告書参照
- 2) 次世代エリア（担当：坂本理事長、山岸敬副理事長、岩本理事、芳村理事）
- 2-1 将来計画委員会報告（坂本理事長）
- 2-2 次世代育成委員会報告（芳村理事）…………… 資料 3 p.78
- 2-3 働き方改革委員会報告（岩本理事）…………… 資料 3 p.82
- 今度の学会でセッションを設ける。
- 2-4 多領域専門職委員会報告（仁尾委員長 代：山岸敬理事）…………… 資料 3 p.83
- 3) 専門医エリア（担当：鮎沢理事、中野理事）
- 3-1 専門医制度・認定委員会報告（鮎沢理事）…………… 資料 4 p.89
- 3-2 専門医カリキュラム委員会報告（麻生委員長 代：鮎沢理事）…………… 資料 4 p.90
- 4) 保険診療臨床試験エリア（担当：三浦理事、住友理事）
- 4-1 保険診療委員会報告（小野委員長 代：三浦理事）…………… 資料 5 p.91
- 本学会関連の保険収載、改訂請求では、①心筋電極リード挿入(CRT-P/CRT-D/ICD)、P  
②PAIVS 穿通拡大術が新規承認、③胎児心エコーの加点が認められた。  
その他資料ご参照いただきたい。
- 4-2 臨床試験委員会報告（三浦大理事）…………… 資料 5 p.109
- 資料参照。現在稼働している臨床試験は 3 つ、ニュースレターに載せる。  
治験斡旋事業としての収入は資料参照。
- 4-3 薬事委員会報告（坂口委員長 代：三浦理事）…………… 資料 5 p.110
- 公知申請に取りくむ。
- 4-4 医療材料機器/HBD 委員会報告（杉山委員長 代：三浦理事）…………… 資料 5 p.111

革新的医療機器の早期導入制度による経皮的肺動脈置換術を目指して、TAVR 協議会などと協議を進めている。

- 5) 社会制度エリア (担当：白石理事、賀藤理事、檜垣理事)
- 5-1 移行医療委員会報告 (城戸理事 代：白石理事) ..... 資料 6 p.114
- 5-2 学校検診委員会報告 (牛ノ濱委員長 代：鮎沢理事) ..... 資料 6 p.116
- 5-3 蘇生科学教育委員会報告 (太田委員長 代：白石理事) ..... 資料 6 p.125  
まもなくガイドラインがでる。その他、資料ご参照

- 6) 医療安全・倫理エリア (担当：赤木理事、賀藤理事)
- 関東の医療事故に、3名委員を派遣。その他、資料をご参照されたい。
- 6-1 医療安全委員会報告 (田中委員長 代：赤木理事) ..... 資料 7 p.126
- 6-2 倫理委員会報告 (前田委員長 代：赤木理事) ..... 資料 7 p.127
- 6-3 利益相反委員会報告 (中島委員長 代：赤木理事) ..... 資料 7 p.128

- 7) 総務エリア (担当：安河内理事、豊野理事)
- 7-1 総務委員会報告 (豊野理事) ..... 資料 8 p.129
- 2017年度からの理事会・総会議事録のHP掲載を早急に行うよう理事長に依頼確認→掲載することです
  - Dropboxの総務エリアでの試用継続について承認
  - News letterについて発行手順を明確にして発行期日を遵守できるようにした。
  - 総務のDropboxと国際文献社の学会用のDropboxのファイル管理について、次年度の事務契約できちんとした事務契約を理事長から依頼する  
→学会全体の契約をみて決定する (坂本理事長)

- 8) 渉外委員会 (担当：安河内理事)
- 8-1 渉外委員会報告 (安河内理事) ..... 資料 9 p.146
- ..... J  
CK3 カ国会議開催費用の積み立て制度について理事会で決定していただきたい  
→ 次回までの懸案とする
  - AHA, APEC, JCKなどのMOUのrenewalが必要。  
→ 理事長の方で進めていただきたい。

- 9) 編集委員会 (担当：須田理事)
- 9-1 編集委員会報告 (須田理事) ..... 資料 10 p.148  
英文誌 4-1 は発行。英文誌の投稿数が少なく問題。和文誌の secondary publication で対面を保っている状態。投稿について理事、評議員からの働きかけが必要。広告収入についても検討。

## 7. 報告事項 (その他)

- 日本循環器学会報告 (三谷理事) c p.158、P161, p 164  
脳卒中循環器病基本法関連で協議会が発足し、今後日本小児循環器学会からの意見や提案の仕方に検討が必要。特に ACHD 領域について、成育医基本法対策も含め都道府県の日本循環器学会の委員会 (循環器内科の教授が中心)、循環器病対策推進委員会、リエゾンについて現状と学会としての対応を別紙にまとめて再度理事会に回覧する。(担当三谷)

2. 乳児健診における心臓聴診検査の推奨度変更について白石理事) -----資料 12 p.170  
添付資料に目を通して、学校検診委員会のメール審議後、持ち回り理事会へかけることになった。

8. その他  
なし

9. 閉会 15:38